

ガリ版の天才・神様と呼ばれた 草間京平(佐川義高)

常陸太田市里美地区



新入学・新社会人になった方々は新しい環境に慣れてきた頃でしょうか？

この時期、新生活のためのオリエンテーションなどでさまざまな資料や連絡事項などの印刷物が配布され、プリントされた印刷物は頼りになる存在です。

今ではワープロソフトやコピー機などで簡単に手に入れることの出来るものですが、かつては手書きやタイプライターなどを使って一枚一枚丁寧に印刷されたものが主流でした。これは通称ガリ版と呼ばれていました。原紙に鉄筆で印刷を彫り、それにインクを通して印刷する謄写版という簡易印刷方法でした。もっぱら手書きで原紙を削り、文字ばかりでなく、イラストなども印刷することが出来、制作する人の人柄も伝わってくる温かみのある印刷物です。

この技術を芸術の域まで高め、「謄写印刷の天才・神様」「孔聖」とまで呼ばれた人物が、常陸太田市里美地区出身の草間京平(本名:佐川義高)です。

草間は一九〇二(明治35)年旧賀美村小菅の旧家に生まれました。しかし、幼い頃に生家は没落、いくつかの親戚の家に預けられるという少年期を過します。16歳のときに母親が病没し、草間は上京して郵便配達や出版社の校正係、建築現場の作業員などのさまざまな職業を経験します。

かねてより、文学に憧れを抱いていた草間は独立。青雲の志をもって謄写印刷の歌集を発行します。時の文学者の有島武郎の資金援助を受けて本格的な謄写印刷の技術を深め、新たな機器の開発や中国各地での技術普及などに尽力します。

草間は一九七二(昭和46)年に亡くなるまで、謄写印刷に人生を捧げ、その作品は多色刷りで浮世絵を凌駕するものや油絵をほうふつさせるものなど、ガリ版刷りとは思えないものばかりです。その作品を目にすることはまれですが、ぜひ一度鑑賞してみたいものです。

草間の故郷は山々に囲まれた自然豊かな光景が広がります。緑が茂るこれからの季節、温泉もあり緑深まる里美地区を訪れ、先人の息吹を感じてみてはいかがでしょうか。

〈参考文献〉草間京平伝(里美村教育委員会)ほか



【アクセス】里美地区へは国道349号を北上、車で常陸太田市街から約40分。
【ワンポイント】草間の生家(現在はない)近くには小菅郷校跡や道の駅さとみなどや横川鉱泉、ぬく森の湯などの温泉施設もある。また、草間京平の作品は山形県山形市の山形謄写印刷資料館(要予約)などで見ることができる。

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>